

平成20年度 現代社会学部(地域学部も含む)の活動内容について

現代社会学部・地域学部の学内事業関係

[1] 「上級情報処理実務士」、「上級ビジネス実務士」、「社会調査実務士」、「国際ボランティア実務士」、「ウェブデザイン実務士」に加えて、平成17年度から「NPO実務士」の資格認定課程を設置した。日本の大学で体系的なカリキュラムを持っているのは本学部のみ。(全国大学実務教育協会)平成19年度から「観光ビジネス実務士」の資格の課程を設置した。平成20年度からは「上級環境マネジメント実務士」の資格の課程設置(現代社会学部のカリキュラムで申請。地域学部の学生も他学部受講で資格取得可能)が認可された。同年度から現代社会学部でも「上級ビジネス実務士」、「観光ビジネス実務士」の資格の課程が認可された。

[2] 企業などの提供講座で一般社会に公開する授業科目

① 国際協力論(JICA提供) ② NPO・NGO論(担当:コーディネーター谷口 新一:NGO・NPOネットワーク富山の協力を得ている) □ 経営特別講義(野村證券提供)、④ 地域学特別講義—地域活性化論—(日本政策投資銀行提供) ⑤ 環境特別講義(北陸電力、日本海ガスなど提供)、平成16年度より新たに⑥ 観光政策論(富山県提供)を、平成19年度から⑦「地域学概説」—総合学としての日本海学—(一部を富山県提供)として開設した。平成20年度も継続。

[3] 後期に実施した観光政策論(富山県提供講座)

地域学部では、平成16年度後期から下記のような科目を新設し、観光ビジネス、地域の活性化等に対するカリキュラムを強化し地域学部の理念・目標達成に資すること及び平成20年度改組して開設した現代社会学部の観光専攻への期待も抱かせる講座となった。

観光政策論(富山県提供講座)平成20年度は全国区の著名人を講師に依頼した。

講師名と講義テーマ

- | | | | |
|--------|-----------------------------|-----------------------|-------------|
| 10月6日 | 富山県と東アジア諸国との観光交流 | 現代社会学部 | 高橋光幸教授 |
| 10月27日 | 旅行業の現状と今後の課題 | 桜美林大学 | 名誉教授 内藤錦樹氏 |
| 11月10日 | 農村滞在型交流観光プロジェクトの現状と課題 | 柏崎市観光交流課長 | 春日俊雄氏 |
| 11月17日 | イメージ調査に見る富山県の魅力的な観光資源について | (株)リクルート
リサーチセンター | 服部 卓郎氏 |
| 11月21日 | 地域資源を生かしたまちづくり「三国湊の歴史と取り組み」 | NPO法人「三国湊魅力
づくりPJ」 | 副理事長 大和久米登氏 |
| 12月1日 | 魅力を活かした地域ツーリズム振興 | 東京国際空港ターミナル(株)取締役 | 佐々木一成氏 |
| 12月6日 | 特別講義 温泉を楽しみながら、健康になる | 札幌国際大学観光学部教授 | 松田忠徳氏 |
| 12月8日 | 飯山市観光協会のグリーン・ツーリズムの取り組み | 飯山市観光協会事務局長代理 | 荻原育夫氏 |
| 12月15日 | ドイツのグリーン・ツーリズムの魅力 | NPO法人 | バードライフ・アジア |

鈴江恵子氏

12月22日 中濃地域の観光振興からみえてくるもの 岐阜県中濃振興局中濃事務所長
野口昌良氏

平成21年1月8日 兵庫県出石のどん底からのはい上がり
兵庫県豊岡市商工観光部観光課長 加藤 勉氏

1月19日 トラベルヘルパー付介護旅行から環境福祉観光へ (株)エスピーアイ代表取締役
篠塚恭一氏

1月26日 地域資源を活用した体験教育・ツーリズムの考え方と方法 (株)南信州観光公社支配人
高橋 充氏

[4] 「地域学概説」—総合学としての日本海学— (富山県提供部分)

11月10日 日本海学事始め 富山県庁 中川正次氏

11月17日 つながる陸と海 四日市大学教授 松永勝彦氏

12月1日 環境と共生する地域づくり 環境教育ネットワークとやまエコひろば代表
本田恭子氏

12月8日 富山の環境変化と生き物 富山市科学文化センター 南部久男氏

12月15日 水・緑の循環と富山 日本大学文理学部教授 水嶋一雄氏

12月22日 水中カメラからみつめる日本海の自然環境 水中カメラマン 大田希生氏

現代社会学部・地域学部の対外事業関係

[1] シンポジウム・フォーラム開催 (本学主催)

① 富山国際大学国際交流シンポジウム (第3回)

テーマ: 北東アジア諸国の観光～現状と展望～

日時: 平成20年10月19日 (日) 13:00～16:30

会場: 富山国際会議場2F会議室

主催: 富山国際大学

後援: 富山県、富山市、富山県観光連盟、富山市観光協会、富山商工会議所、富山第一銀行、
富山信用金庫、コラボ産学官富山支部

プログラム:

基調報告Ⅰ: 「日韓自治体の国際交流と観光活性化」

聖公会大学校日本語日本学科長 教授 梁 起豪 (ヤン ギボ) 氏

基調報告Ⅱ: 「中国にとって日本の観光はどんな魅力があるか」

大連半島翻訳培訓学校 理事長 高 振鐸 (ガオ ツェンドウオ) 氏

基調報告Ⅲ: 「観光分野におけるロシアと日本の協力」

ウラジオストク経済サービス大学観光学科長 教授 ナデジュダ・シチェニコワ氏

パネル・ディスカッション: 「観光交流は北東アジア諸国の発展につながるか」

パネリスト: 梁 起豪氏、東北学院大学教養学部地域構想学科教授 柳井 雅也氏、

高 振鐸氏、環日本海経済交流センター貿易・投資アドバイザー 野村 允氏、

ナデジュダ・シチェニコワ氏

コーディネーター: 富山国際大学現代社会学部教授 長尾 治明氏

②「地域づくりと地域の未来づくり」第2回 海・里・山を結ぶ「森のファンタジー」

1. 日 時：10月11日（土）10:30～20:00

2. 会 場：

411号室→シンポジウム 野外キャンパス→ワークショップ 厚生棟→食の体験、日本海なべ

3. 主 催： 森のファンタジー実行委員会、富山国際大学

共 催： NPO法人 環・日本海、日本文化交流センター、

NPO法人 ものづくり生命文明機構地域活性化協議会、日の出屋製菓産業（株）

後 援： 富山県、富山県芸術文化協会、北日本新聞社、（株）パソナ

4. スケジュール：10月11日（土） 441号室 10:20～17:00

開会挨拶： 金岡 祐一 富山国際学園理事長、田中 忠治 富山国際大学長

シンポジウム（基調講演&パネルディスカッション）：

基調講演：10:30～11:30 「海・里・山を結ぶ：日本海学の今」 （中井徳太郎&吉澤 保幸）

22世紀へ発信すべき自然環境、人間環境、文化環境、命の尊厳などを考える場として……、中井氏には日本海学の役割を、吉澤氏には組織展開の役割について講演。

講演・報告

①「富山の食と観光&環境」

○長尾 治明 富山国際大学現代社会学部教授 ○中川 忠昭 富山県議会議員

○寺嶋 圭吾 てらしま酒店経営

②「町づくり FUTURE PLAN OF TOYAMA」 （司会 中山 妙子）○松原 隆光：富山市

○菅野 克志：高岡市 ○牛塚 松男：射水市 ○松原 勝久：氷見市

③「文化創造と教育」 ○太田 浩史（人間って？）○山本 茂行（動物って？）

○永井 由比（音楽って？）

パネルディスカッション：全体司会進行（大井 進）、コーディネーター（松原 勝久）

ディスカッション参加者など

① 問題・話題提起：県外学識者

中井徳太郎 （人事院給与課長・環日本海副理事長）

吉澤 保幸 （税理士・とかちの…大店長）

長野 麻子 （農林水産省企画官）

② パネラー：県内の学識者

丹保 裕 （富山県民生涯学習カレッジ砺波地区センター副所長/となみ野高校教頭）

稲村 修 （学芸員 魚津水族館）

越田外喜夫 （氷見共同作業所代表）

倉田 延邦 （富山国際大学附属高校教頭）

③ 富山市まちづくり委員

④ 学生（大学生～高校生）

シンポジウム閉会挨拶： 北野 孝一 実行委員会委員長（富山国際大学現代社会学部長）

5. 野外ワークショップ： キャンパス広場と&厚生棟（雨天は厚生棟）

創作レクチャー実演：（彫刻）：井口 悟志、（竹細工）：中井 幸夫

① 演奏（和洋音楽ライブ音のワークショップ concert）：

碓井綾子 P、野崎弘通 VO、中山妙子 KOTO、永井由比 FL、桑原志音 P、入江要介 HUE、
内藤美和 KOTO、本間貴士 17 弦、中山孝&安藤由希子 津軽三味線

富山の食体験ワークショップ（地域食産物で日本海大なべ&おにぎり）

6. 夜なべ談義： 10月11日（土）18：00～20：00

会 場：インテック大山研修センター

① 被爆ピアノ平和活動作詞・作曲創作フェアを全国公募の第一次選考

② 参加者での「夢を語ろう」会

7. 視 察：10月12日（日）10：00～12：00

動物園（富山市ファミリーパーク動物園）自由参加、

[2] 富山国際大学公開講座

① 富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナー

会 場：富山県民会館 508 号室

定 員：先着順 20 名（第 3 講座は 10 名）

開催時間：18：30～20：00

受講料：各講座 5 回分として 5,000 円（第 3 講座のみ 10,000 円）

授業形式：ゼミ形式

対象者：主として県内企業の営業・販売担当者

主 催：富山国際大学 共 催：北日本新聞社

後 援：富山県、富山市、高岡市、（財）富山県高等教育振興財団、（社）富山県経営者協会、
富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会、
富山経済同友会、富山商工会議所、高岡商工会議所

○ 第 1 講座：平成 20 年 6 月 4 日（水）、11 日、18 日、25 日、7 月 2 日

販売開拓支援講座「異業種販売チャンネルを学ぶ（食品業界）」

担当講師：現代社会学部 長尾治明教授、高橋哲郎教授、小西英行講師、ゲストスピーカー

○ 第 2 講座：平成 20 年 7 月 9 日（水）、16 日、23 日、30 日、8 月 6 日

インターネット販売講座「これからの新しい販売チャンネルを考える」

担当講師：現代社会学部 長尾治明教授、高橋哲郎教授、小西英行講師、ゲストスピーカー

○ 第 3 講座：平成 20 年 9 月 3 日（水）、10 日、17 日、24 日、10 月 1 日

若手経営者育成講座「経営者の資質・思考法について学ぶ」

担当講師：現代社会学部 長尾治明教授、高橋哲郎教授、村瀬直幸教授、ゲストスピーカー

○ 第 4 講座：平成 20 年 10 月 8 日（水）、15 日、22 日、29 日、11 月 5 日

営業力向上講座「営業力向上のための考え方・方法について学ぶ」

担当講師：現代社会学部 長尾治明教授、高橋哲郎教授、村瀬直幸教授、ゲストスピーカー

* 講師陣には負担がかかりますが、このセミナーは好評だったので平成 21 年度実施する予定。

② 富山国際大学現代社会学部地域連携サテライト講座

—現代社会の今日的問題を観光・環境・経営の視点から考える—

日時：平成20年7月21日（月）13：00～16：45

会場：富山駅前 CiC3 階 学習室

参加費：無料（先着順約60名）

プログラム：

13：00 開会挨拶 現代社会学部長

13：05 現代社会学部・子ども育成学部の説明

13：30 「富山県と東アジア諸国との観光交流のあり方を考える」

観光専攻教授 高橋 光幸氏

14：40 「癒しの空間」

環境デザイン専攻教授 浦山 隆一氏

15：45 「企業と地域社会との今日的な共生のあり方を考える」

経営情報専攻教授 村瀬 直幸氏

16：45 閉会挨拶

主催：富山国際大学現代社会学部

後援：北日本新聞社

③ 富山国際大学現代社会学部環境デザイン専攻 公開講座

「環境デザインへの招待」

日時：平成21年2月28日（土）13：30～17：30

会場：富山駅前 CiC3 階 学習室

参加費：無料

プログラム：13：30 開会挨拶 現代社会学部長

13：40 基調講演：「東アジアの風水環境学の視点」

—中国・韓国・台湾・沖縄・日本の風水事情—

中部大学国際関係学部教授 渋谷 鎮明氏

15：05 講演 I：「平安京は風水都市か？」

—日本風水史の新たな構築に向けて—

（財）東方研究会研究員 鈴木 一馨氏

16：10 講演 II：「韓国の都市と風水景観」

—韓国における風水観光ガイド—

中部大学人文学部准教授 山元 貴継氏

17：15～17：30： 全体質疑タイム

主催：富山国際大学現代社会学部

後援：（社）日本建築学会北陸支部富山支所、（社）富山県建築士会

[3] 第8回課題研究コンテスト（本学主催）

近年、多くの高校生が課題研究に取り組んでいます。こうした課題研究の中には地域に関する様々なテーマを扱った研究も多く、地域の活性化、観光、まちづくり、地域の歴史・文化、自然環境、福祉問題など実際の「地域づくり、地域の未来づくり」に役立つものも少なくありません。こういった地域に関する優れた課題研究を表彰し、高校生の学習意欲を高める事に貢献したいと

の思いから、今年度も継続実施した。応募校 8 校、応募件数 23 件、審査結果は下記の通り。

独創力賞：「砺波郷土資料館をプロデュースしよう」

富山県立砺波高等学校、郷土ちゃん（加藤 礼奈 他 2 名）

未来力賞：「マツの葉は知っている…！？」

富山県立入善高等学校、サイエンス生物 3 班（上田 麻菜美 他 3 名）

地域貢献賞：「地域の環境に目を向けてー今、私たちにできることはー」

不二越工業高等学校、生徒会、ボランティア同好会、ガーデニング愛好会、保健委員会、
15H環境班（前生徒会会長 舟橋 弘恵（代表）他 512 名）

想像力賞：「地域の生活文化を探究する」

岐阜県立益田清風高等学校、「地域研究」グループ（阿部 友美 他 16 名）

特別賞：「センノウを富山県の特産品にー「幻の花」復活から普及に向けてー」

富山県立中央農業高等学校、センノウ研究班（中居 崇 他 3 名）

奨励賞：「赤ちゃんの能力について」 富山県立八尾高等学校（4 名）

「コミュニケーションについて

ー富山型デイサービスとコミュニケーションレストランー 同上（4 名）

「ユニバーサルデザインと情報の関わりについて」 同上（5 名）

「カイワレちゃんの親探し」富山県立入善高等学校（4 名）

「寄り回り波調査」 同上（1 名）

努力賞：4 件

以上

[4] 富山国際大学「高校生！エコ学習ツアー」

日 時：平成 20 年 8 月 5 日（火）8 時 30 分～16 時 00 分

場 所：島田商店新川支社、富山市エコタウン、しらくら山の学校

参加者：2 校 39 名（うち高校教員 4 名） 富山いずみ高校 33 名、雄山高校 6 名

※NHK 富山放送局「明日の動き」にて事業の事前紹介告知あり。また、翌日富山新聞に掲載。

[5] 水の道を探る Part 2：～黒部川扇状地の自然環境と人々の生活～

実施日：2008 年 8 月 2 日（水）

集 合：9:00 富山駅北口 9:15 水橋駅前 10:00 黒部市民病院

見学コース：水橋駅～黒部市民病院 「全国の川と観光」クイズ 黒部市民病院～うなづき友学館

北陸新幹線新黒部駅、北国街道松並木を車窓より見学、コンビニにて昼食を各自購入

10:40～11:20 うなづき友学館（黒部市歴史民俗資料館）見学（特別展「黒部海物語」）

11:30～11:55 愛本橋（扇状地の扇頂部、堰堤等の景観観察、分水の説明等）

12:10～13:00 舟見城、古民家見学（昼食、扇状地の景観観察、古民家での暮らし）

13:10～13:25 下山芸術の森発電所美術館（低落差発電、旧扇状地と新扇状地）

13:40～14:00 小摺戸堤付近（右岸堤防の霞堤、水制を車内より見学）

14:20～15:10 杉沢の沢スギ見学、水質調査

15:30～16:25 生地・中橋付近でバスを下車し清水（湧水^{しょうず}）散策、水質調査

解 散：16:40 黒部駅前 17:25 水橋駅 17:45 富山駅北口

参加者：水橋高校 10 名（生徒 8 名、吉田 優教諭、高井奈央子教諭）、富山工業高校 3 名（計 13 名）

※当日の様子は8月5日付北日本新聞朝刊にも掲載された。

[6] 平成20年度高校出講プログラム等による実施記録

高校などからの依頼により実施した回数は46件と昨年の約2倍となった。受験生を少しでも増やしたいと本学が富山県内で最初に「出前講義」として開始したが、現在は県内の各大学、県の機関、経済界、国の各機関なども加わって頭書ほどの効果は期待できなくなっている。全く本学に学生を受験させることを考えてもいないのに無料ということでの依頼もあって、件数の増加への対応を検討すべき時期にきていると思う。

○ 高校と大学の連携講義として3件（継続）が実施された。

① 富山県立大門高等学校

夏季休暇中に「情報コースの体験実習」として「インテック大山研修所と富山国際大学4号館」で1泊2日（8月10日ー8月11日）でカードゲーム「UNO」を用いたゲームロジックの構築及びゲーム実践を行いこれを通して論理的思考について学んだ。情報コースの1年生22名&教員3名参加した。地域学部の上坂教授、吉牟田講師が指導にあたった。

② 富山県立八尾高等学校

(1) 目的

八尾高校の情報・福祉コースの生徒に「総合的な学習」の時間を活用して、富山国際大学現代社会学部の教員が「情報（IT）」や「環境・福祉」についての総合的視点から専門的知識や実践的スキルを実習、課題研究調査等を通して学ぶ事で、「情報通信技術を活用した21世紀の福祉」や「地域づくり・地域の未来づくり」を担うために必要な学習観を育む。

(2) 対象生徒

八尾高校普通科2年生 情報コース 10名、福祉コース 21名 （合計31名）

(3) 講義テーマ

最初の3回は講義を聴講し、興味・関心のあるテーマについて班編成を組み、班ごとにテーマについて調査・資料収集・研究を行い最後の時間に成果をまとめて発表することにした。最初に講義した3名の教員（北野教授、大谷准教授、才田教授）に加えて浦山教授が原則として最低1名が毎週指導・助言に当たった。研究成果発表会は7/10に2時間かけて実施した。予想以上の成果が得られたと高く評価された。今年度は高校の文化祭に発表出来るように1学期（4月ー7月）に実施。勿論、本学主催の課題研究コンテストにも応募（7件応募あり）して貰えるように通常の教室での授業では得られない成果とともに本学への進学しより深く学びたいという意欲を引き出すようにした。

③ 富山県立高岡南高等学校

生徒が、新たな学問との出会いによって、学びへの興味・関心や意欲を高める契機にしたという学校側に応えるために、「富山国際大学講座ー現代社会はグローバルに生き抜こうー」の統一テーマで実施した。

第1回 9月30日（火）佐藤悦夫 准教授

「なるほどザ・ワールド：世界遺産編ー観光人類学案内ー」

第2回 10月7日（火）浜松誠二 教授

「統計が示す現代富山の顔ー情報を戦略にー」

第3回 10月28日(火) 浦山隆一 教授

「気持ちのいい家ーインテリア**環境デザイン**のお話ー」

第4回 11月11日(火) 高橋光幸 教授

「光を観せる・光を観に行くー住みよい国づくりが**観光の基本**ー」

第5回 11月18日(火) 北野孝一 教授

「地域を知る・創るー今なぜ**現代社会学部**なのか?ー」

第6回 12月15日(月) 尾畑納子 教授

「環境にやさしい暮らしとはー**生活環境学**の教えー」

[7] 平成20年度研究活性化事業(富山県助成)

テーマ:「社会経済環境の変化に対応した富山県観光の方向性に関する研究」

東海北陸自動車道の全線開通、北陸新幹線の整備、アジアを中心とする外国からの観光客の増大等、富山県の観光をめぐる経済社会環境が大きく変化している。このような中で富山県は、富山県観光振興条例(仮称)の制定等、観光立県をめざして観光振興の取り組みを積極的に行っている。

本研究は、上記の社会経済環境の変化の中で、富山県観光の現状と今後の観光振興の方向性について検討し、提案することを目的とする。

研究担当者は現代社会学部教授 高橋光幸、准教授 佐藤悦夫、助重雄久、斎藤敏子他

本研究により以下の成果が期待される。

- ①富山県観光の現状と課題の明確化
 - ②先進観光地における観光振興施策の内容と効果及び課題の明確化
 - ③富山県における今後の観光振興施策の方向性と留意点の明確化
- 上記成果を下記の方法で地域社会へ還元する。

- ・研究報告書の作成
- ・県の行政関係者等への研究成果報告会の開催

[8] 富山第一銀行奨学財団からの助成による研究

現代社会学部は130万の研究助成を得て下記の4件の研究を実施し、②、④の2件について助成による研究成果の発表会で国際大学として報告することにした。

- ① テーマ:「大学における教養教育のあり方ー特に初年次教育をめぐってー」

研究代表 大谷 孝行 准教授

- ② テーマ:「富山県における観光の現状と課題に関する研究」

研究代表 高橋 光幸 教授

- ③ テーマ:「建築・環境デザインにおけるグローバルな思考・実践のための事例研究ー地域主義的建築のあり方:画一性と個性についてー」

浦山 隆一 教授

- ④ テーマ:「中小企業経営者の経営理念・リーダーシップ研究」

研究代表 高橋 哲郎 教授

[9] 海外の大学などとの提携と交流

- ① 富山国際大学地域学部と韓国の大邱大学校経商大学との学部間学術交流協定を平成19年3月に締結し、現代社会学部の創設にともない平成20年4月に現代社会学部との交流協定に改定

した。昨年は本学で8月に交流協定締結記念の国際学術交流シンポジウム「東アジア諸国における交流の可能性を探る」を開催した。今年度は平成21年1月13日～14日に経商大学の孔在植学長の他に教員3名、担当職員1名、大学の学生のいろいろな組織・機関の代表者11名が本学を訪問し（計16名）、本学の学生とそれぞれの大学での活動状況などを話し合った。県内の2企業を見学・研修した。（①最先端の新聞編集・発行システムとして一北日本新聞社「越中座」、②最新の自動化された各種お菓子製造プロセス、立山連峰のふもとに立地した環境に配慮した工場として一日の出屋製菓「ささら館」）

② 平成20年11月には、北野現代社会学部長が上海の復旦大学国際政治学部の樊勇明学部長の招聘を受けて訪問し「国際観光と地域経済振興」のテーマで講演した。これからの環日本海の発展を念頭においての交流のあり方についてもいろいろ話し合った。復旦大学の大学院進学希望で学位取得など明確な目標をもった学生は是非受け入れる方向で考えたい。最初は小規模な交流であっても何れ大きな流れになって、環日本海地域の多くの問題解決に貢献できる人材を育てるべく発展させて行く事で一致した。

[10] ベンチャー「企業見学会」等について

富山県新世紀産業機構の主催の起業家の卵育成事業として「企業見学会」、「社長講演」、「経営者抱持ち」事業が実施された。

① **企業見学会** 地域学部の学生12名、国際教養学部の学生12名が参加した（キャリア支援講座としての実施としたので、両学部の学生が参加した）。富山の菓関連の代表的な企業を訪問して自分の五感を通して起業家を目指す夢を刺激した事は確実であった。

平成20年10月22日（水）午後実施。見学先企業は

（株）トヨックス および 東洋ゼンマイ（株）

② **社長講演会** 平成20年10月29日（水）実施

講演者：**ジャパンパック（株） 長田 宏泰 社長**

参加数： 地域学部 69名、 国際教養学部 31名、計 100名

③ **社長抱持ち** 平成20年11月17日 実施

経営者：**シーケー金属（株） 釣谷 宏行 社長**

参加者： 地域学部3年 村井 雅俊

教授 安達 哲夫

【論文】

- ① 「韓国大統領選挙と日韓関係の行方」(富山インターネット市民塾、平成20年1月)
- ② 「人口減少時代をどう生き抜くか」(富山インターネット市民塾、平成20年2月)
- ③ 「この国の背骨を考えるー「護送船団教育」からの脱却をー」
(富山インターネット市民塾、平成20年3月)

【講演】

- ① 「大統領選挙後の米国の行方」(富山国際大学サテライト市民講座、平成20年8月23日)
 - ② 「100年に一度の経済危機」(富山国際大学サテライト市民講座、平成21年1月24日)
-

教授 安藤 満

[著書、論文等]

- (1) 安藤満：日本における健康と発ガンリスク 富山国際大学地域学部紀要、8巻、61-81、2008年
- (2) S. Asanuma, K. Sato, I. Kawahara, C.K. Liang, M. Ando: Impact of Heat Stress on Urban Population Health in Japan and China Proceeding of 18th International Congress of Biometeorology, Human 1-O13, 2008.

[学外活動]

○委員会委員

- (1) 中部地方における地方公共団体による地球温暖化対策の推進状況等調査検討会議委員
(環境省中部地方環境事務所 主催)
- (2) 中部地区地域エネルギー・温暖化対策推進会議委員
(経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所 主催)
- (3) 「減らそうCO2」とやまエコアクト・グランプリ実行委員会委員
(富山県生活環境文化部 主催)

○学会活動

International Association of Agricultural Medicine and Rural Health, Member of the Executive Bureau、もったいない学会理事、日本衛生学会評議員、日本農村医学会評議員、富山県農村医学会理事、日本生気象学会評議員

教授 浦山 隆一

【著書・論文・報告】

1. 「伊野地区伝統的建造物群」(秋元一秀と協同執筆); 荻谷勇雅・林良彦・下間久美子
西山和宏 編集『日本の町並み調査報告書27 四国地方の町並み<2>』P301-411、
海路書院(2008.7)。
2. 「黒部川扇状地の農村社会の変容(第一報)～入善町の地域社会の変容～」(真岩六造・盛

田親義・真岩利博・米沢亘との共同報告)；黒部川扇状地研究所編『研究紀要 黒部川扇状地 第33号』P64-73、(2008.3)。

【口頭発表】

「地域風土と環境デザイン～北陸から環日本海域の特色～」：第2回環日本海域環境シンポジウム「地球環境地域学の創成をめざして」(平成20年11月25日)、金沢大学フロンティアサイアンス機構。

【研究活動】

1. 「東アジアにおける伝統的地理思想よりみた沖縄の抱護林」(平成19年度～20年度) 平成20年度科学研究費補助交付金[萌芽研究 課題番号19652073] 研究分担者
2. 平成20年度 財団法人富山第一銀行奨学財団助成研究「建築・環境デザインにおけるグローバルな思考・実践のための事例研究—地域主義的建築のあり方：画一性と個性について—」

【学外活動】

1. 「21世紀海・里・山を結ぶ若者シンポジウム」基調講演「地域づくりと風水地理」 高岡土蔵造りのまち資料館(平成20年3月2日)
2. 富山県立八尾高校連携授業「ユニバーサルデザインについて」(平成20年5月22日)
3. 「井波わいわいフスティバル」まちづくりシンポジウム 基調講演「まちづくり夢と元気の提言」；よいとこ井波(平成20年5月24日)
4. (社)日本技術士会北陸支部 富山県技術士会 第9回講演会 「風水と抱護—私の環境観—」富山地铁ホテル(平成20年7月5日)
5. 富山国際大学現代社会学部地域連携講座「癒しの空間のカタチ—空っぽの聖なる場所—」富山駅前CiCビル(平成20年7月21日)
6. 2008氷見環境フォーラム基調講演「氷見の守るべき現在の環境と提言」 氷見海浜植物園(平成20年10月19日)
7. 富山県立高岡南高校連携講座「気持ちのいい家—インテリア・環境デザインのお話—」(平成20年10月28日)

[非常勤講師]

「人間と環境」・「インテリアデザイン」専門学校職藝学院 平成20年4月～12月

[学外役員・学外委員会委員]

1. 黒部川扇状地研究所副所長、入善町文化財保護審議委員
2. 神戸芸術工科大学 博士(芸術工学)専門委員会 委員(副査)

教授 大西 一成

1) 〈論文〉

景気変動の要因分析と経済見通し

～1990年代後半から景気回復期にかけての景気変動要因分析と予測～

Analysis of Fluctuation by Basic Econometric Models and Forecasting

国際教養学部紀要 VOL. 4 (2008. 03)

2) 講演

①富山国際大学 国際教養学部公開講座【県民カレッジ連携講座】

2008年7月26日

「地域経済の活性化と環境問題～地域社会にみる環境問題と産業政策～」

②富山国際大学 国際教養学部公開講座【県民カレッジ連携講座】

2008年12月13日

「豊かな暮らしのための政策～少子高齢化社会における暮らしと社会保障制度～」

教授 尾畑 納子

[著書、論文]

「環境教育活動としての海外植林ボランティア」

富山国際大地域学部紀要 8, 83-89 (2008.3)

[研究発表]

1.日本家政学会第60回大会発表 (2008.5.12～5.13,東京)

「環境負荷軽減のための洗浄の基礎的な検討」(研究発表要旨集 p64)

2. CESIO,7th World Surfactant Congress (2008,6-22～25,Paris)

“Studies on Washing Using Functional Water”(Proceeding paper p128)

3.日本家政学会中部支部第回 (2008.9.13,金沢)

「電解水による環境負荷低減型洗浄への応用」(講演要旨集 p91-95)

4.XXXVI IHA ,International Association of Hydrogeologists Congress (2008,10.26-11.1,TOYAMA)

“Application of Electrolyzed Water to Washing Systems” (Proceeding paper p413-414)

5.日本水環境学会中部支部学術集会 (2008.12.12,富山)

「水環境負荷低減のための洗浄に関する基礎的研究」(講演要旨集 p10)

[研究活動]

1.「LCA 思考に基づく家庭洗濯の環境負荷削減に関する研究及び教育支援プログラムの開発」

平成20年度科学研究費補助交付金〔基盤研究A〕採択：電離水による洗浄力評価—研究分担)

2.平成20年度北陸地域活性化に関する研究助成事業「次世代と共に考える水環境保全と観光資源としての活用」採択

3.家政学会誌投稿論文査読 (1件)

[学外活動]

1. 研究会・講演会・出講プログラム等講師

- ・大沢野女性団体、講演会講師「身近な水のはなし」(2008.1.27)
- ・富山国際大学公開講座、講師「富山の恵みー暮らしと水」(2008.3.8)
- ・富山市民大学教養講座講師「とやまの水事情：暮らしと水」(2008.5.8～5.22)
- ・富山の名水研究会総会記念講演「暮らしと水について考える」(2008.5.10)
- ・高岡市民講座、講師「水のふしぎ」(2008.8.23)
- ・富山県立雄山高校出前講座「キャリア支援：身に付けておきたいマナー」(2008.6.2)

・富山県立高岡南高校出講プログラム「生活環境の教え」(2008.12.15)

2. 社会活動

・「2008 日本女性会議とやま」大会「くらしと環境」第13部会コーディネーター
(2008.10.17-18)

3. 各種委員等(平成20年度)

学会関係：(社)日本家政学会被服整理学部会会長(19.10～)、繊維製品消費科学会北陸支部常任幹事、繊維機械学会北陸支部理事、富山県消費者協会理事 等 地域活動：富山県消費生活審議会委員、富山県環境審議会委員、富山市環境審議会委員、チューリップテレビ放送番組審議会委員、2008年日本女性会議実行委員会分科会部長 など

教授 北野 孝一

[講演など]

1. 「ネットワーク社会の今後(ユビキタス社会の展望)」、富山県立八尾高等学校、2年生(情報コース10名、福祉コース21名)、平成20年4月10日
2. 「越中・富山の地域と環境について」、高岡市生涯学習センター(約30名)、高岡市生涯学習センター連携講座：富山国際大学公開講座の統一テーマ『地域社会、自然と生きる』、平成20年4月26日
3. 「東アジア諸国における交流の可能性を探る」、平成20年度富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー研究成果発表会、富山国際会議場多目的会議室、平成20年6月6日
4. 「これからは社会のなかの大学、その役割は?」、岐阜県立神岡高等学校1年生、富山国際大学訪問、平成20年6月27日
5. 「今、大学教育は」、山加積教友会(於：ホテルサンルート滑川)、平成20年8月24日
6. 21世紀「まちづくり夢と元気の提言」パネラー、海・里・山～若者シンポジウム(於：国指定重要文化財一菅野家)、平成20年8月30日
7. 海・里・山～富山の食文化・環境～第2回「森のファンタジー」(於：富山国際大学東黒牧キャンパス)夜なべ談義(於：インテック大山研修所)での問題提起「日本海学の未来に向けてどのように発展させるか?」、平成20年10月11日
8. 「地域を知る・創るー今なぜ現代社会学部なのか?ー」、高岡南高等学校、2年生(約30名)、富山国際大学講座『現代社会はグローバルに生き抜こう』、平成20年11月18日
9. 「国際観光と地域経済振興」、復旦大学(中国・上海)国際政治学部、平成20年11月24日
10. FUTURE PLAN OF TOYAMA 海・里・山を結ぶ若者シンポジウム“市長と語ろう”「21世紀『まちづくり夢と元気の提言』」でのパネラー、新湊高等学校会議室、平成20年11月29日
11. 森のファンタジーin 鎌倉ー環境フォーラムーでのパネラー『日本海学を未来に向けてどう発展させるか?』、鎌倉芸術館小ホール、平成20年12月27日

[委員など]

1. 富山国際学園理事・評議員(平成13年10月～現職)
2. 「未来観光戦略会議」理事、(平成15年5月～現職)
3. 富山国際センター運営委員会委員(平成16年3月～現在、平成17年4月から委員長就任)

4. 富山市社会教育協議会委員（平成 17 年 7 月～現職）
 5. 富山市市民学習センター運営協議会委員（平成 18 年 7 月～現職）
 6. 富山市通学区域審議会委員委員長（平成 20 年 4 月～現職）
 7. コーディネータ連絡会議（とやま産業クラスターネットワーク構築事業）メンバー（財団法人富山県新世紀産業機構）（平成 18 年 9 月～現職）
 8. NPO 法人「環・日本海」理事長、（平成 20 年 6 月～現職）
 9. 富山県大学連携協議会 GP 企画検討委員会 委員（富山国際大学）、平成 20 年 4 月～現職）
 10. 富山県立八尾高等学校 学校評議員、（平成 20 年 6 月～現職）
 11. 第 6 回五箇山合掌の里芸術祭「2008 悠・遊・友」実行委員長、（平成 20 年 10 月～11 月）
-

教授 郷 龍夫

【著書・論文等】

- 1) 「廃蛍光管の水銀回収」、富山国際大学地域学部紀要投稿
- 2) 「高純度酸化チタンの開発」、昭和電工株式会社社内報2008年9月号、10月号、11月号

【学外活動】

○講演・外部講師

- 1) eラーニングビジネス塾「ビジネスマンの環境知識」、富山インターネット市民塾講師
- 2) 「環境汚染対策技術の開発」、2008年 3月18日、不二越工業高等学校
- 3) 「成長への軌跡・高純度酸化チタンの開発（コンデンサー原料として世界トップシェアに成長）」、2008年 7月 4日、昭和タイタニウム株式会社
- 4) 「二酸化炭素等環境汚染物質の拡散と汚染防止技術」、2008年 7月24日、高岡龍谷高等学校
- 5) 高岡市公開講座「資源とリサイクル」、2008年 7月26日、高岡市生涯学習センター

○学外委員会等

- 1) 全国大学実務教育協会特別委員 加盟・課程審査委員会

【その他(部活動等)】

○共同研究

- 1) 海洋深層水の活用技術、株式会社あいば食品
 - 2) 超微粉の流動化技術の開発、群馬大学工学部
-

教授 才田 春夫

【著書・論文・学会報告】

●論文

国際協力における大学と市民の連携

●その他

庭野平和財団助成活動報告書

【学外活動】

●講演

- 1) 高岡市民講座で講演
- 2) 高大連携授業（八尾高校）
- 3) 高岡龍谷高校で授業
- 4) とやま学生フェスタ実行委員長

●学外委員など

富山県ボート協会理事

NGO インドネシア教育支援理事

高校生ドキュメンタリー工房 第3回実行委員会委員

富山県大学連携協議会学生会委員、

戦略的大学連携支援事業 FD&SD 推進委員会委員

●学内委員

学務部次長、国際交流センター参事、カリキュラム検討委員、地域学部運営委員、

大学院検討委員会

●部&サークル顧問

- 1) ボート部
- 2) ボランティア部
- 3) サモア研究会
- 4) 新聞部
- 5) ビーチサークル

●その他

サモア助成自立支援プロジェクト実施

教授 James W. Porcaro

論文

- ・ On Uganda and Africa: A retrospective essay after forty years. *Journal of the Faculty of International Studies, Toyama University of International Studies*, 4, 2008.
- ・ Using court cases to foster communication and critical thinking. *TESL Reporter*, 37 (2), 2008.
- ・ Teaching English in English. *Explorations in Teacher Education*, 17 (1), 2009.

学会発表

- ・ “Introduction to Africa”. (武生東高等学校 [福井県] 2008年2月).
- ・ “Introduction to Africa”. (富山国際大学附属高等学校 2008年6月).

教授 鈴木 康雄

【論文、寄稿】

- (1) 富山県高等教育財団助成研究報告：「韓国『英語村』(English Village) 構想—プロジェクトの構想と実状：日本の英語教育への示唆」(2008年4月提出)
- (2) 寄稿「2012年 APEC 首脳会議開催で経済発展に拍車がかかるウラジオストク」(「読売新聞」富山県版、2008年9月15日付け)

【講演】

- (1) 警察大学校幹部研修講演「プーチン・ロシアの政治と社会」(2008年3月14日、東京都府中市、受講者＝警部補以上の幹部警察官約300人)
- (2) 高岡生涯学習センター主催講演「最近の世界情勢」(2008年3月22日、高岡市ウ

ィングウィング、受講者＝一般市民約 30 人)

- (3) 富山県北方領土返還期成同盟講演「ロシア新大統領メドヴェージェフ：洞爺湖サミットと今後の対日政策」(2008 年 5 月 28 日、サンシップとやま、聴講者＝県会議員、市町村公務員など約 50 人)
- (4) 富山大学附属中学校 PTA 会講演「国際社会から見た日本」(2008 年 6 月 25 日、同校体育館、聴講者＝中学生、父兄、約 250 人)
- (5) 富山県民生涯学習講座講演「2008 年 - 2013 年 世界はどこへ進む」(2008 年 10 月 31 日、富山県教育会館、聴講生＝一般市民約 90 人)

【社会・地域活動】

- (1) 日本スウェーデン協会理事
- (2) 富山ウラジオストク会理事
- (3) 富山ケーブルテレビ番組審議会委員

教授 高橋 哲郎

【研究発表】

「韓国首都圏中小製造企業の現状」(長岡大学 権五景准教授と共同発表)

2008 年 12 月 13 日 (財)環日本海経済研究所 韓国経済システム研究会(会場:早稲田大学早稲田キャンパス)

【研究調査】

韓国部品産業ヒアリング調査 2008 年 8 月 31 日～9 月 6 日

(財)環日本海経済研究所 韓国経済システム研究会メンバーによる共同調査

【助成研究】

平成 20 年度 財団法人富山第一銀行奨学財団助成研究

「中小企業経営者の経営理念・リーダーシップ研究」

【講演】

- (1) 「일본 지역경제와 농업·농촌의 현상과 전망 -지역자원·지역 브랜드를 중심으로-」(「日本の地域経済と農業・農村の現状と展望-地域資源・地域ブランドを中心に-」韓国語で講演) 2008 年 8 月 27 日 韓国 大邱大学校東アジア観光研究所
- (2) 「일본 지역경제와 지역브랜드」(「日本の地域経済と地域ブランド」韓国語で講演) 2008 年 8 月 28 日 韓国 社団法人 グリーンツーリズム研究会

【委員会委員】

- ・富山地方最低賃金審議会委員 (公益代表委員)
- ・富山地方最低賃金審議会 富山県電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会 部会長
- ・富山地方最低賃金審議会 富山県自動車(新車)小売業最低賃金専門部会 部会長代理
- ・富山地方最低賃金審議会 富山県百貨店、総合スーパー最低賃金専門部会 部会長代理

・富山地方労働審議会 家内労働部会 公益代表委員

【その他】

○富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナー担当講師 2008年6月～11月

○高校出講プログラム 「韓国語・韓国事情」 泊高校 (12月16日)

○外部組織との共同研究

研究テーマ: 韓国経済のシステム分析

共同機関: (財)環日本海経済研究所 韓国経済システム研究会

教授 高橋 光幸

【著書・論文】

- 1) 「富山県における国際観光の現状と課題に関する考察」 富山国際大学現代社会学部紀要、第1巻、2009年3月

【研究発表】

- 1) 「観光振興における地域内連携の現状と課題」 総合観光学会第15回全国学術研究大会発表 (発表要旨 pp. 17-18)、2008年11月29日～30日、静岡県熱海市

【報告書】

- 1) 「富山県における観光の現状と課題に関する研究」 富山第一銀行助成研究報告書、2009年3月

【学外活動】

○研究会・講演会・出講プログラム等講師

- 1) 日中友好富山県地方議員連盟総会記念講演「富山県と中国との観光交流のあり方」、2008年7月11日、富山県議会議事堂2階 大会議室
- 2) 富山国際大学現代社会学部地域連携講座講師「富山県と東アジア諸国との観光交流のあり方を考える」、2008年7月21日、富山駅前 CiC
- 3) 富山県立高岡南高等学校出講プログラム講師「光を観せる・光を観に行くー住みよい国づくりが観光の基本ー」、2008年11月11日
- 4) 平成20年度近畿電源地域連絡協議会 第15回交流会 (近畿経済産業局)、近畿電源地域市町村研修会 (電源地域振興センター) 講師「観光資源の価値の創出によるまちづくり」、2008年11月13日、福井県高浜町
- 5) 高岡南部地域活性化推進協議会 第12回新幹線研究会講師「地域の魅力って何?ーここだけの魅力を創る」、2008年12月2日、高岡テクノドーム
- 6) 富山県議会観光振興議員連盟勉強会講師「住民の連携による地域の魅力づくり」、2008年12月4日、富山県議会議事堂2階 大会議室
- 7) 郡上市観光ビジョン策定研修会「これからの観光の考え方」、2009年1月27日、岐阜県郡上市

○委員会委員

- 1) 富山県「ロシア・欧米・環日本海 物流・観光懇話会「国際観光研究会」」委員

○学会活動

- 1) 総合観光学会理事

【著書・論文等】

- 「わが国の最近の観光事情と今後の観光振興の考え方」『流通問題 2月号』 Vol.43-4No171
社団法人流通問題研究協会 2008.2
- 「日本の観光政策と富山県の新しい観光旅行の開拓」『東北アジア観光研究』 p1~p17
東北アジア観光学会 2008.5 Vol 4-1

<その他>

- 「東海との心理的距離短縮」北陸中日新聞 2008.7.6

【大学主催地域社会貢献活動】

- 第3回富山国際大学国際交流シンポジウム『北東アジア諸国の観光：現状と展望』2008.10.19
パネルディスカッション「観光交流は北東アジア諸国の発展につながるか」コーディネーター
- ビジネスマン・イブニングセミナー
コース1：販路開拓支援講座「異業種販売チャネルを学ぶ(食品業界)
6月4日、11日、18日、25日、7月2日、9日
コース2：インターネット販売講座「これからの新しい販売チャネルを考える」
7月9日、16日、23日、30日、8月6日
コース3：若手経営者養成講座「経営者の資質・思考法について学ぶ」
9月3日、10日、17日、24日、10月1日
コース4：営業力向上講座「営業力向上のための考え方・方法について学ぶ」
10月15日、22日、29日、11月5日、12日

【学外活動】

<講演・研修会>

- 「産業観光とは何か～新たな企業経営戦略への提案～」富山県西部産業開発協議会 高岡商工ビル4階 2008.1.22
- 「起業家セミナー」富山市商工労働部新産業支援センター 2008.2.13
- 「営業の基本を学ぶ」富山地域職業訓練センター協力会 2008.3.28 及び 4.3
- 「第6次小矢部市総合計画市民フォーラム」コーディネーター 2008.5.31.
- 「富山県西部地域の観光～新たな経営戦略～」氷見商工会議所 2008.6.23
- 「富山の経済～現状と展望～」富山県警察学校 2008.6.24 及び 7.15
- 「経営理念を持つ一心構えと成功の条件」平成20年度農業ニューリーダー育成講座「アグリカレッジコース」富山県農業技術課研究・普及振興班 2008.11.4
- 「地域資源の発掘の活用法」大沢野政経研究会 リバーリトリート雅楽倶 2008.7.2
- 「こんにちは富山県です～とやまの産業観光～」北日本放送 2008.10.11 9:30~9:45
- 「第1分科会産業発展の歴史を活かす産業観光」コーディネーター 2008.9.25『全国産業観光フォーラム in とやま 2008』全国産業観光推進協議会
- 「富山県におけるグリーンツーリズムの取り組み状況」大邱大学校東アジア観光研究所
- 「日本のグリーンツーリズム政策と今後の課題」社団法人グリーンツーリズム研究会(韓国)

2008.8.28

○「日本及び富山県観光の現状と課題」富山県警察学校 2008.11.25

○「「環境・健康・ブランド戦略—農工商観学ビジネス連携とCO₂削減—」2008.11.29

BIZNAVINET 農工商観学連携異業種交流委員会

【各種審議会委員】

中部経済産業局、国道交通省北陸地方整備局・北陸信越運輸局、独立行政法人雇用・能力開発機構富山センター、富山労働局職業安定部、富山県観光・地域振興局観光課、富山県商工労働部経営支援課、富山県商工労働部商業まちづくり課、富山県農業技術課、富山県都市計画審議会、富山県消防・危機管理課、富山県農林水産部、富山市建設部、富山市商工労働部、富山市農林水産部、富山市中央卸売市場業務管理課、滑川市、射水市、南砺市、小矢部市、立山町、財団法人富山県新世紀産業機構、社会福祉法人富山県社会福祉協議会、社会福祉法人富山県共同募金、社団法人富山県食品産業協会、富山諸侯会議所、高岡商工会議所、富山県中小企業団体中央会、(株)富山県総合情報センター

【職歴】

北陸大学野球連盟理事長 財団法人地域振興研究所評議員 社団法人流通問題研究協会理事
社団法人食品産業協会理事 NPO 法人グリーンツーリズム理事 とやま産業観光推進協議会副会長

教授 浜松 誠二

【著書、論文等】

浜松誠二：地域間所得格差の一層の拡大（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Feb.07,2008.
浜松誠二：増加の兆しを見せる自然災害（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Mar.13,2008.
浜松誠二：移動の沈静化と首都圏への流出の再々拡大（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Mar.20,2008.
浜松誠二：極めて多い集落営農組織（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Mar.26,2008.
浜松誠二：売上減少の中で面積拡大の終息（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Apr.17,2008.
浜松誠二：住宅建設の再拡大は期待困難（『富山を考えるヒント』Web-Site）、May.03,2008.
浜松誠二：高い所得の平準度（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Jul.04,2008.
浜松誠二：拍車が掛かる過疎地域人口の減少（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Jul.20,2008.
浜松誠二：スプロール(拡散)を促した土地利用計画（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Aug.30,2008.
浜松誠二：供給過剰による住宅地価格の低下（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Sept.21,2008.
浜松誠二：狭い範囲にとどまる再開発事業の効果（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Oct.01,2008.
浜松誠二：都市開発型自然災害の増加（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Oct.19,2008.
浜松誠二：供給要因(病床・医師数)が決定する医療費（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Nov.01,2008.
浜松誠二：医師数は、病床数・大学医科定員数と相関（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Nov.02,2008.

浜松誠二：社会的入院需要も病床数の決定要因（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Nov.03,2008.

浜松誠二：介護認定率と施設定員で決まる介護給付費水準（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.01,2008.

浜松誠二：急速な職業の変化（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.10,2008.

浜松誠二：高い高齢者の潜在力（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.12,2008.

浜松誠二：収入、世帯規模、都市化、高齢化率が生活保護率の決定要因（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.24,2008.

浜松誠二：雇用体制の歪みの露呈（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.27,2008.

浜松誠二：物価水準に影響する分散居住（『富山を考えるヒント』Web-Site）、Dec.27,2008.

教授 増田 功

【著書・論文】

なし

【学会活動（研修会・講演・委員会委員等）】

- 1) 「HD 映像伝送による教育現場の共感空間実現の研究」プロジェクト 研究評価委員会委員
- 2) 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 研究専門委員会顧問

【その他（部活動等）】

- 1) 映像メディア研究会 顧問

教授 村瀬 直幸

【論文】

村瀬直幸「設備投資、有効需要及び有効産出の理論」、富山国際大学紀要 第9巻(2009)

【学外活動】

- 高校での進路ガイダンス講師
 - 1) 「経営学について」、新川高等学校、2008年6月27日
 - 2) 「経済学・経営学について」、高岡龍谷高等学校、2008年7月8日
 - 3) 「経済学・経営学・商学について」、雄山高等学校、2008年7月12日
 - 4) 「経済・経営学について」、大門高等学校、2008年7月19日
 - 5) 「経理・経営系の仕事について」、高岡龍谷高等学校、2008年12月10日
 - 6) 「経営学について」、龍谷富山高等学校、2008年12月12日
- 富山国際大学現代社会学部地域連携講座講義
「企業と地域社会との今日的な共生のあり方を考える」、2008年7月21日
- 富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナー担当講師
2008年9月～11月 計10回
- 高岡南部地域活性化推進協議会地域開発部会講演
「観光客と街づくり」、2008年12月2日

【著書・論文】

- ・「雑念恐怖症の諸相～森田療法の観点から～」富山国際大学国際教養学部紀要、2008年
- ・北日本新聞のコラム「心のかたち」に、署名入りの記事として以下の日にわたって連載。
1月26日、2月27日、3月26日、4月23日、5月21日、6月18日、7月16日、
8月13日、9月10日、10月15日、11月12日、12月10日

【学外活動】

1. 講演・発表

- (1) 高校及び地域社会への出前講義 講義題目、(主催、出講月日)の順で
- ・「プラス思考の生き方・考え方」(富山県中部厚生センター、2月21日)
 - ・「パリ散歩から知るフランスの歴史と文化」(高岡市、2月23日)
 - ・「日本の精神療法に学ぶ生き方」(日本交流分析協会北陸支部、3月16日)
 - ・「人との円滑なコミュニケーションを目指して」(八尾高校、4月17日)
 - ・「自分の感情とどうつき合うか」(はなさき苑、4月18日)
 - ・「日本人および富山県民にとっての自然と癒し」(富山ユネスコ協会、4月27日)
 - ・「笑いと心の健康」(氷見市、5月1日)
 - ・「笑って心に健康を」(高岡厚生センター、5月16日)
 - ・「ストレスと認知の関係」(高岡市社会福祉協議会、10月17日)
 - ・「森田療法に学ぶ自然な生き方」(NPO法人「生活の発見会」富山支部、11月2日)
 - ・「人生を楽しむ～県民性とユーモア～」(富山市豊城町内会長寿会、11月3日)
 - ・「笑いと健康」(氷見西組寺院女性会、11月9日)
 - ・「よりよい人間関係の構築のために」(新川地区保健連絡協議会、11月10日)
 - ・「高校生の教育相談に応用できる日本の精神療法」(福岡高校、12月2日)
- (2) 本学主催の公開講座 講演題目、(開催月日)の順で。場所はすべてCICビル。
- ・「富山における自然と癒し」(1月12日)
 - ・「富山県民にとっての笑いと活力」(1月26日)
 - ・「富山県内高校生の悩みの現状」(3月22日)
 - ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(1)・(2)」(5月24日、11月22日)
- (3) 発表
- FD研修会「リメディアル教育の実践と課題」パネリスト報告(富山県民会館、8月28日)

2. 社会活動

- (1) 森田療法自助グループNPO法人「生活の発見会」富山支部委員
- (2) NPO法人「生活の発見会」主催による富山集談会の運営及び司会。
(富山県民会館、1月6日、2月3日、3月4日、4月6日、7月6日、8月3日、
9月7日、10月5日、12月7日)
- (3) 「森田療法を学ぶ会」の運営(森田療法関係の文献講読及び森田療法理論をレクチャー)
(富山県民共生センター・サンフォルテ、1月11日、2月9日、3月14日、4月11日、5
月16日、6月9日、7月13日、9月19日、10月10日、11月14日)
- (4) インターネット市民塾で「日本の精神療法に学ぶ生き方」全4回開講。9月～12月。

【著書・論文】

- 1) Masaki Kameko and Nobuaki Yagita, “Chern subrings”, preprint, arXiv.org/0810.4235
- 2) Masaki Kameko, “Finite Chevalley groups and loop groups”, preprint, arXiv.org/0810.1678
- 3) Masaki Kameko, “Finite Chevalley groups and loop groups”, 1042th AMS Meeting Wesleyan University Middletow, CT, October 11–12, 2008 Program, 71–71.
- 4) 松元重則(ed), 平成 17 年度～平成 19 年度 科学研究費補助金基盤研究(A) 研究成果報告書「位相幾何学の総合的研究」(2008), 58–59.
- 5) Masaki Kameko, “On the cohomology of finite Chevalley groups and free loop spaces”, 京都大学数理解析研究所講究録 1581 (2008), 45–54.
- 6) Masaki Kameko and Mamoru Mimura, “On the Rothenberg-Steenrod spectral sequence for the mod 2 cohomology of classifying spaces of spinor groups”, Geometry & Topology Monographs 13 (2008), 261–279.
- 7) Masaki Kameko and Nobuaki Yagita, “The Brown-Peterson cohomology of the classifying spaces of the projective unitary groups $PU(p)$ and exceptional Lie groups”, Trans. Amer. Math. Soc. 360 (2008), 2265-2284.

【学会・シンポジウム発表】

- 1) “Nilpotent elements in the mod 2 cohomology of the classifying space of the exceptional Lie group E_7 .” ホモトピー論シンポジウム, 2008 年 12 月 5 日, サポートホール高松
- 2) “Finite Chevalley groups and loop groups.” 2008 Fall Eastern Section Meeting Middletown, CT, 2008 年 10 月 12 日, Wesleyan University
- 3) “Rings of invariants of Weyl groups of spinor groups.” ホモトピー論小研究集会–Hubbuck 先生を囲む会–, 2008 年 3 月 27 日, 九州大学

【研究活動】

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究(C) [課題番号 19540105](#) 「有限シュバレー群のコホモロジーの研究」研究代表者

【学外活動】

欧文学術論文査読 2 件
北陸財務局財務行政モニター

【著書・論文等】

- 紙野健二・市橋克哉編『資料 現代行政法〔第3版〕』(法律文化社、2008年)〔分担執筆:「行政行為」の「効力・瑕疵・撤回・付款」の項執筆〕

【口頭発表・講演等】

- 富山県自治体問題研究所総会記念講演「憲法改正の動向と地方自治保障の意義」(同研究所所報 304号 (2008.7.15号) に要旨掲載)

- 富山県自治体問題研究所市町村合併研究会『コンパクトシティ』に関する法制度について(概要紹介) (同研究所所報 306号 (2008.9.15号) に要旨掲載)

【学会活動・社会活動等】

- 富山県自治体問題研究所理事長 (2008年7月～現職。6月までは同研究所副理事長)
- 日本科学者協会富山支部幹事 (継続)
- 富山県インターンシップ推進協議会運営委員会副委員長 (2008年度)

准教授 斎藤 敏子

【論文・著作・報告書等】

- 1) 「顧客満足および不満足の原因についてーヒューマンサービスにおける質的研究ー」富山国際大学現代社会学部紀要、第1巻、2009年3月
- 2) 「富山県における観光の現状と課題に関する研究 (サービス分野)」富山第一銀行助成研究報告書、2009年3月

【研究発表】

- 1) 「ヒューマンサービスにおける質的研究について」東海大学文明研究所社会科学部門研究会、2008年9月17、18日

【学外活動】

- 高校出講プログラム等

- 1) 「コミュニケーションについて」高岡商工会議所、2008年7月2日
- 2) 「旅行業界、ホテル、航空業界について」富山県立向陵高等学校、2008年7月9日
- 3) 「チームワークについて」富山県総合体育センター、2008年7月15日
- 4) 「顧客満足について」富山県立福光高等学校、2008年7月23日
- 5) 「顧客満足について」富山県立水橋高等学校、2008年12月9日
- 6) 「国際・語学・観光について」富山県立いずみ高等学校、2008年12月10日

- 講演・講座等

- 1) 「管理職のためのメンタルヘルスクエア～心のケアによる職場の危機管理～」横浜商工会議所、2008年3月8日
- 2) 「マネジメントサイクルについて」神奈川県民センター、2008年3月27日
- 3) 「職場の問題解決～コミュニケーションに関して～」赤坂セミナールーム、2008年8月13日
- 4) 「高大連携キャリア形成特別講座」神奈川大学、2008年8月20、21、22日
- 5) 「ホスピタリティの本質とその定位について」神奈川県民センター、2008年8月14日

- 社会貢献

- 1) 「人のこころをつかむ特別講座」日本交流分析協会関東支部 NPO ヒューレック研究会、2008年3月15日
- 2) 「ヒューマンサービスとホスピタリティ」神奈川県民センター、2008年8月15日

- 研究助成申請

- 1) 文部科学省日本学術振興会科学研究費補助金申請、2008年11月
-

●論文・著書等（単著）

①「富山県における国際理解教育に関する研究：高校生のアンケート調査を中心に」

『国際教養学部紀要』 Vol. 4 PP. 79-116 富山国際大学（2008年3月）

②「2007年度科研費成果報告：土器分析」

『2007年度科学研究費研究成果報告書 研究課題 中米古代国家の形成とイデオロギー：テオティワカン「月のピラミッド」発掘調査』（研究代表：杉山三郎）（2008年6月）

●学会報告（共著）

Sato, Etsuo, Hidekazu Kotegawa, Janet Montoya, and Saburo Sugiyama

2008 “Refining the Patlachique Phase: Ceramics, Figurines, and Architecture at the Earliest Monument Found in the Moon Pyramid”

73rd Society for American Archaeology Meeting in Vancouver, Canada（2008年3月）

●講演等

①「富山の観光について」国際教養学部市民公開講座（CICビル、2008年2月）

②「国際・地域文化について」（入善高校、2008年2月）

③「スペイン語講座」（コラーレ、2008年3月）

④「観光学への招待」（新湊高校、2008年5月）

⑤「国際関係について」（雄山高校、2008年7月）

⑥「なるほどザ・ワールド：世界遺産編—観光人類学案内-」（高岡南高校、2008年9月）

●フィールドワーク

①メキシコ、テオティワカン「月のピラミッド」考古学調査（2008年8月25日～9月24日）

②五箇山観光調査（2008年11月1日～2008年11月2日）

●その他

古代アメリカ学会編集委員長（2004～）

1) 論文・著作

砺波平野、平岡昭利編『地図で読み解く 日本の地域変貌』、海青社、180-181.

2) 学外活動

○ 高等学校生への教育活動

「水の道を探る」Part2～黒部川扇状地の自然環境と人々の生活～、富山国際大学現代社会学部・日本黒部学会共催、北日本新聞社後援（2008年8月2日）

○ 助成研究

(財)北陸建設弘済会第13回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業「次世代とともに考える水環境保全と観光資源としての活用」＝尾畑納子教授との共同研究

○ 各種委員

(1) 荒尾市史編纂委員会専門委員（熊本県荒尾市、1999年7月～現在に至る）

(2) 黒部市宇奈月温泉スキー場検討委員会委員長（2007年12月～2008年8月）

- (3) 富山市シティプロモーション懇談会委員(2008年7月～2009年3月)
- (4) とやま棚田ネットワーク会長((社)富山県農林水産公社、2005年11月～現在に至る)
- (5) 第5回「とやまの棚田写真展」審査委員(主催:富山県・(社)富山県農林水産公社、とやま棚田ネットワーク、審査:2009年1月16日)

3) 学会活動

【口頭での研究発表】

- (1) 景観写真と Google Earth をリンクさせた地理教材の作成と利用ーミシガン湖周辺を事例としてー、2008年度立正地理学会研究発表大会、2008年6月7日、立正大学熊谷校舎
- (2) 中国内陸部の異なった「顔」ー雲南省西双版納タイ族自治州における農業・農村の変化ー、海外地理教材シンポジウム「海外の景観を地理教材として活かすために」、立正地理学会・日本地理教育学会・お茶の水地理学会共催、2008年7月5日、立正大学大崎校舎
- (3) 助重雄久:中部山岳・飛越地域向けパックスアーにみる伝統的街並み訪問の動向、2008年度立正地理学会秋季例会、2008年11月8日、小諸市・北国街道ほんまち町屋館

【役員】

日本地理教育学会評議員(2007年4月～現在)、富山地学会幹事(2000年5月～現在)
立正地理学会評議員(2002年4月～現在)

4) 講演・公開講座

- (1) 常願寺川周辺の地理的特徴、富山国際大学地域学部主催「水を探る～常願寺川扇状地の自然環境と防災～」、事前研修2008年8月19日、・現地見学2008年8月21日
- (2) 新幹線開通に向けた観光地整備の課題ー県西部地域、高岡南部地域活性化推進協議会第12回新幹線研究会、2008年12月2日、高岡テクノドーム
- (3) 富山国際大学現代社会学部・高岡市生涯学習センター連携講座「地理的な視点からみた富山の観光資源とその未来」、2009年1月24日、高岡市生涯学習センター

准教授 高尾 哲康

【著書・論文】

1. 「ユーザプロフィールに応じた字幕表示システム」、富山国際大学地域学部紀要、pp.1-8, Vol.8, 2008
2. 「要約筆記の品質評価の試み」、富山国際大学地域学部紀要、Vol.9, 2008

【学外活動(研修会・講演、委員会委員等)】

1. 戦略的大学連携事業推進委員会SRMプロジェクト推進委員会委員
2. 月刊ニューメディア編集局編集協力員

准教授 湯 麗敏

【論文・著書】

湯 麗敏:「周作人独自の散文形式について」、富山国際大学国際教養学部紀要、第4巻、
2008年3月

【研究活動】

・中国語のテキスト作成（白帝社）分担

【学外活動】

1. 学会 「日本中国語学会全国大会」、京都外国語大学、2008年10月25～26日
2. 富山・中国ネットワーク勉強会講師、2008年9月23日
3. 富山市民国際交流協会教養講座講師、2008年度 全10回 担当
4. 富山市民向けの公開集中講義「中国語の基礎」2008年3月1日
5. NPO法人高岡鳩の会「第16回日本対中国歌誦大会」審査員 2008年3月23日
6. NPO法人高岡鳩の会「第11回中国語レシテーション大会と文化講演の集い」アドバイザー
7. 富山「ひまわり会」の勉強会指導 2008年度 全10回

【その他】

学内： 国際交流センター委員
国際交流シンポジウム実行委員
中国サークル顧問
高校生向けのオープンキャンバスミニ授業の担当

准教授 鶴山 博之

【著書・論文】

- 「ドッジボールにおける「思いやり」に関する研究」富山国際大学国際教養学部紀要、pp.125-131, Vol.4, 2008
- 「子どもの遊びの実態に関する研究」富山国際大学国際教養学部紀要、pp.133-137, Vol.4, 2008

【学外活動】

1. 外部講師
日本体育協会陸上競技指導員資格養成講習会講師（8月23日）
富山県スポーツ少年団認定員養成講習会講師（12月20日）
 2. 各種委員等
富山県医・科学的トレーニング専門委員会委員
富山県公認スポーツ指導者協議会理事
富山陸上競技協会理事
日本陸上競技連盟施設用器具委員会検定員
北信越学生陸上競技連盟評議員
-

准教授 福島 美枝子

【著書・論文】

- (1) 「外国人の日本語との出会い」富山国際大学国際教養学部『国際教養レビュー』（2008・3）
- (2) Book Review(書評): Gebhard, Jerry G. (2006) Teaching English as a Foreign or Second Language: A Teacher Self-Development and Methodology Guide (Second Edition). Ann Arbor: The University of Michigan Press. In *JALT Journal*, Vol. 30, No. 1. (2008・5)

【学外活動（研修会・講演・委員会委員等）】

- (1) 「高円宮杯第 60 回全日本中学校英語弁論大会富山県予選」 審査委員長（読売新聞・講評掲載）
- (2) 「富山国際大学附属高校 SELHi 運営指導委員会」 委員
- (3) 「富山国際大学国際教養学部公開講座【県民カレッジ連携講座】」 講師（「日本語を学ぶ人々～世界、日本、富山の現状～」）
- (4) 「富山県立水橋高校 第 2 学年出前講座」 講師（北日本新聞・授業風景掲載）

【学内活動】

- (1) TUINS English Club 顧問
- (2) 「富山県立高岡南高校 第 1 学年セミナー」 講師（「英語を学ぶ楽しさ、英語を使う楽しさ」）
- (3) 「第 31 回京都国際文化協会エッセーコンテスト《私の見た日本》」 入賞者チューター
- (4) 留学生学内発表会（合同教養演習）「外から見た日本」 オーガナイザー

准教授 横井 敏秀

【論文（単著）】

「あるトルコ軍人の日本論(1) —— 日露戦争観戦武官ペルテヴ・パシヤのみた日本 ——」
『国際教養学部紀要』 Vol. 4 PP.165-174 富山国際大学（2008 年 3 月）

【学外活動】

- 講演等
「社会学とはどのような学問か」（高岡龍谷高校、2008 年 7 月）

講師 小西 英行

【著書・論文】

- 論文
 1. 「小売流通とポイント経済」、単著、富山国際大学現代社会学部紀要、第 1 号
2009 年 3 月
 2. 「マイレージ・ポイント・マーケティング」、単著、クレジット研究、2009 年
3 月

【学外活動】

- 学会
 1. 「日本商業学会全国大会」、法政大学、2008 年 5 月 23 日～25 日
 2. 「インストアマーケティング学会」、城西大学、2008 年 9 月
- 非常勤講師
 1. 消費者行動論、金沢星稜大学、2008 年 4 月～2008 年 9 月
 2. マーケティング・コミュニケーション論、星稜女子短期大学、2008 年 10 月～
2009 年 3 月
- セミナー
 1. 「一般職・サービス業を志す高校生向けセミナー」、高岡第一高等学校、2008
年 7 月

【著書・論文等】

富山県内における特定非営利活動法人の現状と法人制度の課題～市民評価について考える～
単著、富山国際大学地域学部紀要、第8号、2008年3月

【講演・発表】

北陸電力労働組合（平成20年4月）

やんちゃパーク（北日本新聞主催、平成20年8月）

財団法人岐阜県体育協会（平成20年9月）

高岡市保育士会（平成20年10月）

高岡市ニューリーダーアカデミー（平成20年10月）

早稲田大学教育学部小林敦子合同ゼミパネラー（平成20年11月）

高岡生涯学習センター連携講座（富山国際大学公開講座、平成20年11月）

【学内活動】

新入生オリエンテーション・ファシリテーター（平成20年4月）

地域づくり関連の体験講義（オープンキャンパス時、平成20年7月）

富山国際大学「高校生！エコ学習ツアー」企画実施（平成20年8月）

【その他】

NHK総合テレビ「ご近所の底力」出演（エコドライブ関係、平成20年2月）

富山県広報番組「元気とやま情報チャンネル」出演（平成20年6月）

富山県立上市高等学校評議委員

NHK富山放送局視聴者委員

21世紀子ども放課後環境教育プロジェクト（環境省事業、富山県分全担当）

富山県地球温暖化防止活動推進員（年4回県内小学校で講演&指導）

とやまスノーピアード立山山麓「雪の祭典」実行委員会幹事

富山国際大学・E研（ECO研究サークル）顧問